



①箇所：いきなり感情トレード発動。これは下げすぎ。サポートラインで反発するだろう+指数も上向きだしということでエントリー。最終的に次の足でほぼ同値撤退はできたが完全に運。良くなかった。損切も本来であれば根拠にしているサポートラインを割って、逆指値を狩りに来るのであれば6090円までに反発しないとまだ下げるから損切にしないと今日は助かってるけどやられるやつ。久しぶりに損切ができなかった。いつもは勝てないけど損切だけはできるのに。ここまで落ちてくれば買いたいという思いと成功体験があると良くない。ここでは寄りの足が確定して次の足になる瞬間にエントリーして、サポートラインにタッチしたら即利確で良かった。サポートラインを根拠にしたなら機能してないことが確定した時点で即損切。損切した直後上がるのがあって迷うのは分かる。迷うぐらいなら即損切して、サポートで反発したらまた入ろう。まただまされたら、損切しよう。同一根拠での再エントリーは1回までだから、ルールに基づいて取引しよう。

②箇所：指数上向き・サポートライン反発狙いでエントリー。結果オーライだが、6094円くらいまで買われてる。このエントリーで利確出来たのは運。寄り付き直後のエントリーパターンにもない形。せめて、エントリーできないとしても、サポート割れたら発動する逆指値を狩り終わったところの6095円付近でエントリーして、6090円で損切みたいにするか、サポートの二重線の下と75日線が重なるところを反発ポイントとして、その付近の厚い板の上に指値する等した方が良かった。そこでエントリーして、VWAPより上で推移していることを確認しながら、A・B・D（利確ライン）を引く。足が変わったら、上髭の頭にCを引く。それで④の足のCラインにタッチしたところで利確にすればよかった。そうしたら④エントリーせずに済んで損切もなくなってた。エントリーしやすいために指値を気持ち上に設定したら、早利確になってトレンド伸ばせないから一生勝てるようにならない。

③箇所：寄り付き～30分間くらいは寄り直後から比較して大き目の陽線・陰線がでた次の足は反対の動きになることが多いと感じている。それに加えて、5日線に押しえつけられて下がる。このエントリーパターンは長めに持ってトレンドに乗りたいというよりは、スキップして瞬間的に下がったところを取るだけになる。欲をかいたら一瞬で損切になる。寄りから30分間の間は、決めてるパターンでスキップはやっていきたい。

④箇所：ライン抜け・指数の上昇トレンドでエントリー。根拠が薄い。トレード時は引いていなかったが、上髭のところにもラインを引いて、6245円Pを超えたら買いとすべきだった。6238円まで上昇して6232円まで下げて、そのあと一瞬で6212円くらいまで下げた。損切は最低限出来てはいるが、出さなくても良い損失。エントリーパターンに無く、根拠が薄い状態でエントリーはしない方が良い。